

2024年度（2025年3月期） 第2四半期（中間期）決算概要 説明資料

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2024年11月13日
大日本印刷株式会社

1. 2024年度（2025年3月期）中間期決算概要

【2024年度中間期決算概要】

(単位：億円) **DNP**

| | 2023年度 中間期 | 2024年度 中間期 | 増減率 (差) | 2024年度 業績予想 | 進捗率 |
|---------------------|---------------|---------------|------------|----------------|-------|
| 売上高 | 6,937 | 7,083 | +2.1% | 14,550 | 48.7% |
| 営業利益 | 275 | 381 | +38.6% | 800 | 47.7% |
| 経常利益 | 374 | 500 | +33.5% | 1,000 | 50.0% |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 762 | 897 | +17.7% | 900 | 99.7% |

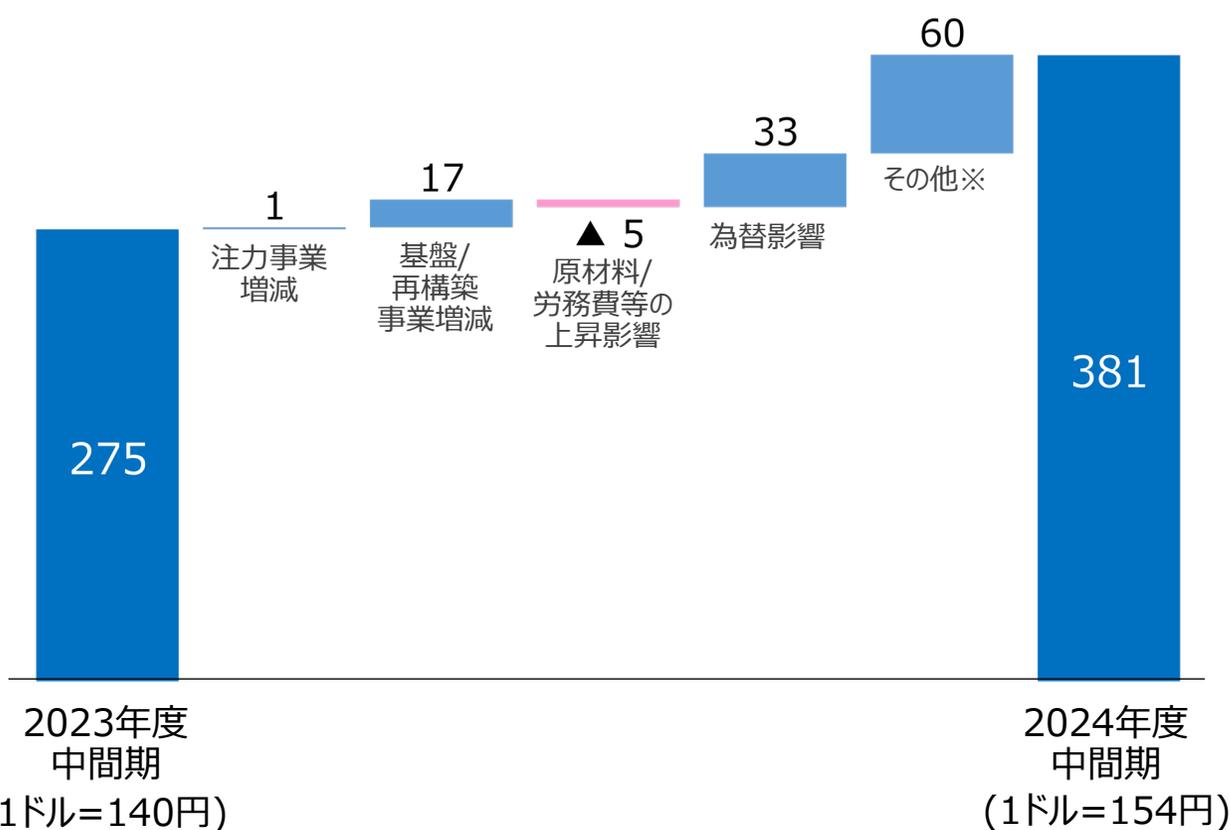
| | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-------|
| 設備投資額 | 292 | 313 | +7.2% | 740 | 42.4% |
| 研究開発費 | 177 | 184 | +3.7% | 360 | 51.2% |
| 減価償却費 | 262 | 260 | ▲1.1% | 560 | 46.4% |

概況

- ✓ 注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、売上高は前年から増加
- ✓ デジタルインターフェース関連を中心とした注力事業の拡大や、再構築事業の収益改善が寄与し、営業利益は前年から増加
- ✓ 持分法適用関連会社の業績が堅調に推移したほか、政策保有株式の売却益計上も寄与し、経常利益および中間純利益も前年から増加

【2024年度中間期決算概要】営業利益増減要因

(単位：億円) **DNP**



概況

- ✓ 車載向けバッテリーパウチがEV需要停滞の影響を受けるも、太陽電池関連部材やデジタルインターフェース関連が増加
- ✓ 写真プリント用部材やICカードが堅調に推移した一方で、BPOが前年大型案件の反動により減少
- ✓ 包装関連は需要が好調だったことに加え、価格転嫁の推進や固定費の圧縮が寄与

※ 退職給付費用の減少(+77)、メタルマスク新ライン開発経費等(▲10)、その他セグメントに帰属しない調整額を含む

【2024年度中間期決算概要】注力事業・基盤事業の概況

(単位：億円) **DNP**

| | | 2023年度 中間期 | 2024年度 中間期 | 概況 (矢印は売上高の前年比) | |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|---|
| スマート コミュニケーション 部門 | セグメント 売上高 | 3,505 | 3,466 | イメーシング コミュニケーション関連 |  写真プリント用部材が欧米・アジア市場などを中心に 好調に推移 |
| | セグメント 営業利益 | 85 | 126 | 情報セキュア関連 |  キャッシュレス化の進展によりデュアルインターフェイスカード※が伸長も、 B P Oは前年の大型案件により減少 |
| | | | | コンテンツ・XR コミュニケーション関連 |  日本発コンテンツ市場の活況を背景に、米国・サンフランシスコに 「東京アニメセンター」初の海外拠点を開設 |
| ライフ& ヘルスケア 部門 | セグメント 売上高 | 2,317 | 2,429 | 産業用高機能材関連 |  バッテリーパウチは I T 向けが増加も、 車載向けが市況停滞の影響を受け減少 |
| | セグメント 営業利益 | 51 | 90 | モビリティ関連 |  D X の推進による事業の拡大を狙い、 ミックウェア社と資本業務提携を締結 |
| | | | | メディカル・ヘルスケア関連 |  創薬開発の支援に向け、韓国 N E X E L 社と 心筋細胞の培養に関する技術提携を発表 |
| エレクトロニクス 部門 | セグメント 売上高 | 1,126 | 1,197 | 光学フィルム |  テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大 などにより伸長 |
| | | | | 有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク |  スマートフォンでの有機 E L ディスプレイ採用拡大を 背景に計画通り伸長 |
| | セグメント 営業利益 | 250 | 278 | 半導体関連 |  市場回復に伴い半導体製造用フォトマスクが堅調に推移 |

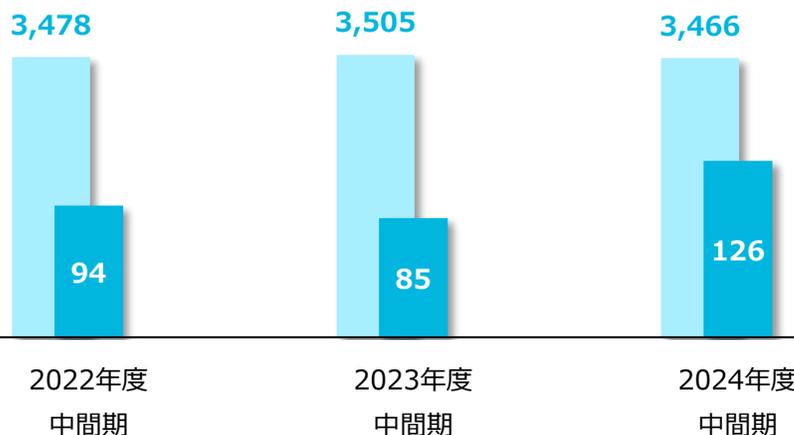
※ 1つの I C チップで接触型と非接触型の2つのインターフェイスを備えるカード

【2024年度中間期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

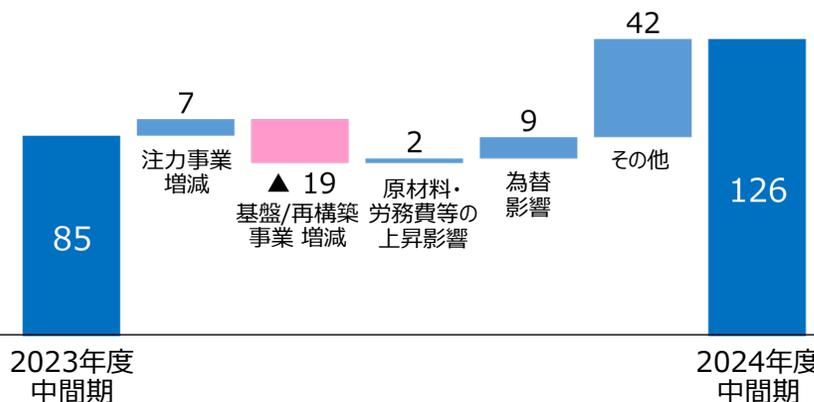
スマートコミュニケーション部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益増減要因



概況

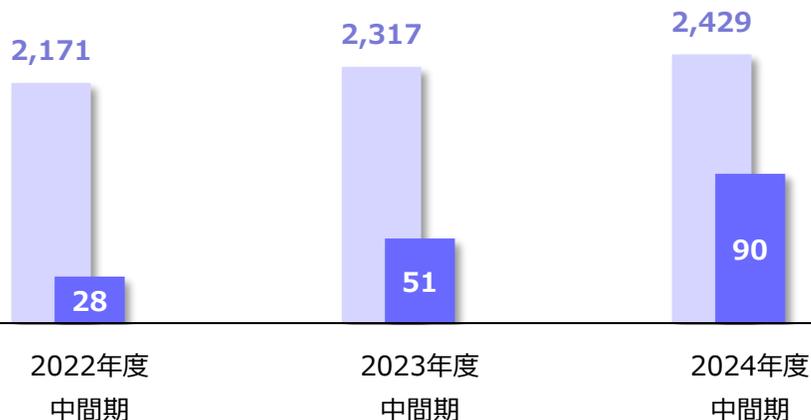
- ✓ 情報セキュア関連は、ICカードが好調に推移するもBPOが前年大型案件の反動により減少
- ✓ イメージングコミュニケーション関連は写真プリント用部材が好調に推移したほか、国内の写真関連サービスが増加
- ✓ 雑誌や商業印刷等の紙媒体における市場縮小が継続

【2024年度中間期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

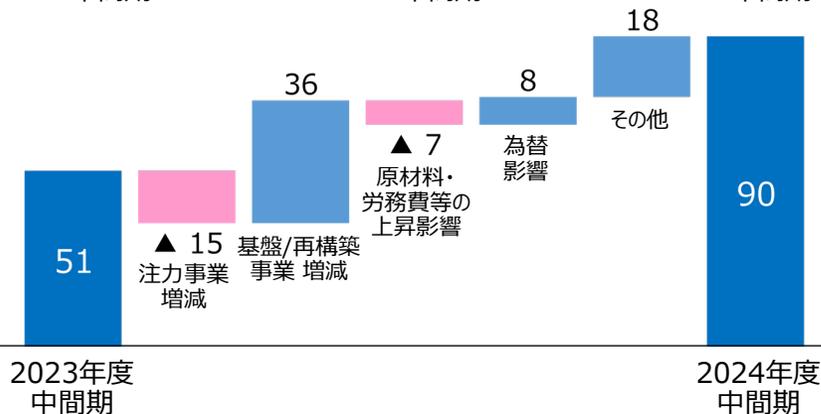
ライフ&ヘルスケア部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益増減要因



概況

- ✓ IT向けバッテリーパウチがスマートフォンやタブレット端末などの新機種への採用拡大によって伸長したものの、車載向けがEV需要停滞の影響を受け減少
- ✓ 包装関連はスナックや日用品関連の需要が好調だったことに加え、価格転嫁の推進や固定費の圧縮が寄与

【2024年度中間期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

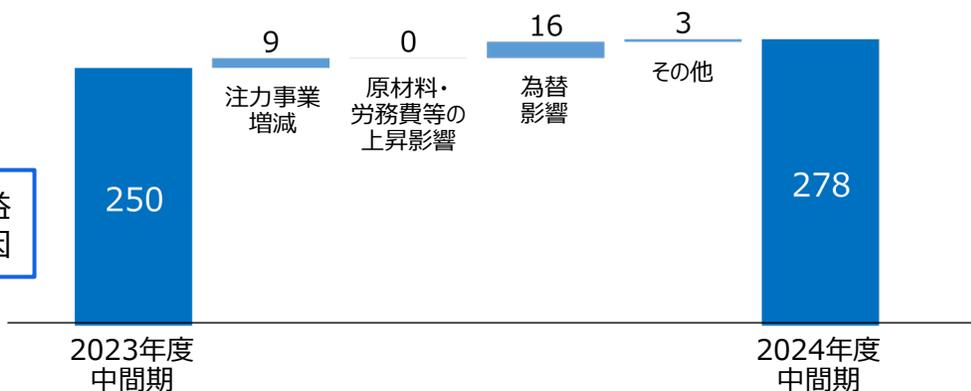
エレクトロニクス部門

■売上高（左） ■営業利益（右）

業績推移



営業利益増減要因



概況

- ✓ 光学フィルムはテレビ用パネルの大型化を背景に堅調に推移
- ✓ 有機ELディスプレイ製造用メタルマスクは、スマートフォンへの採用比率拡大に伴い計画通り伸長
- ✓ 半導体製造用フォトマスクは、半導体市場の回復を受け堅調に推移

2024年度業績予想

(単位：億円) **DNP**

通期業績予想は変更なし

| 【全社】 | 2023年度実績 | 2024年度業績予想 | 増減率(差) |
|---------------------|----------|------------|--------|
| 売上高 | 14,248 | 14,550 | +2.1% |
| 営業利益 | 754 | 800 | +6.0% |
| 営業利益率 | 5.3% | 5.5% | +0.2% |
| 経常利益 | 987 | 1,000 | +1.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,109 | 900 | ▲18.9% |
| ROE | 9.8% | 8.0% | ▲1.8% |

| | | | |
|-------|-----|-----|-------|
| 設備投資額 | 683 | 740 | +8.2% |
| 研究開発費 | 352 | 360 | +2.2% |
| 減価償却費 | 559 | 560 | +0.0% |

| 【セグメント別】 | | 2023年度実績 | 2024年度業績予想 | 増減率(差) | 参考： 中期経営計画 |
|-----------------------|------|----------|------------|--------|---------------|
| スマート コミュニ ケーション | 売上高 | 7,194 | 7,200 | +0.1% | 7,230 |
| | 営業利益 | 261 | 300 | +14.7% | 290 |
| ライフ& ヘルスケア | 売上高 | 4,723 | 5,000 | +5.9% | 5,240 |
| | 営業利益 | 133 | 180 | +34.9% | 210 |
| エレクトロ ニクス | 売上高 | 2,353 | 2,400 | +2.0% | 2,120 |
| | 営業利益 | 581 | 540 | ▲7.1% | 470 |
| 調整 | 売上高 | ▲22 | ▲50 | - | ▲40 |
| | 営業利益 | ▲222 | ▲220 | - | ▲220 |
| 合計 | 売上高 | 14,248 | 14,550 | +2.1% | 14,550 |
| | 営業利益 | 754 | 800 | +6.0% | 750 |

2. 中期経営計画 進捗状況

中期経営計画の進捗状況：注力事業領域等への投資

成長投資・基盤構築投資

3,900億円以上（2023～27年度の5年間）

2023～27年度

2023～24年度
中間期累計

3,900億円

2,600億円
以上

基盤構築投資
その他
1,300億円
以上

1.5か年
計画進捗率
30.0%

1,170億円

注力事業領域
及び
成長投資

基盤投資
(設備更新等も含む)

▽中期経営計画での主な投資

| 投資年度 | 投資概要 |
|------|----------------------------|
| 23年 | シミックCMO社の子会社化 |
| 23年 | 福岡県・黒崎工場に大型メタルマスクの生産ラインを新設 |
| 24年 | 福島県・泉崎工場に太陽電池用封止材の生産能力を増強 |
| 24年 | 広島県・三原西工場に光学フィルムの新ラインを増設 |
| 24年 | 埼玉県・上福岡工場にフォトマスク生産設備を増強 |

中計で発表した骨子

スマート
コミュニケーション

紙メディア事業の
合理化

ライフ&
ヘルスケア

低付加価値製品の
見直しと拠点の再編

包装関連事業の拠点再編



主な構造改革施策

- ✓ 出版印刷部門の組織再編（DNP出版プロダクト）
 - ✓ 商業印刷部門の関東製造拠点閉鎖・再編
 - ✓ 固定費の最適化
-
- ✓ 包装関連事業 製造拠点閉鎖（中部エリア）
 - ✓ 固定費の最適化

出版印刷事業の構造改革の取り組み

デジタルメディアの普及、消費者ニーズの変化に起因する紙メディアのさらなる縮小に対応するため、生産の合理化をさらに進めるとともに、出版印刷部門の営業・製版・製造機能を統合した構造改革・組織再編を実施し、今後も出版文化の継続的な発展に貢献してまいります

紙の出版印刷市場



出典：出版科学研究所「出版指標 年報」※2023年以降は当社推定

構造改革の取り組み

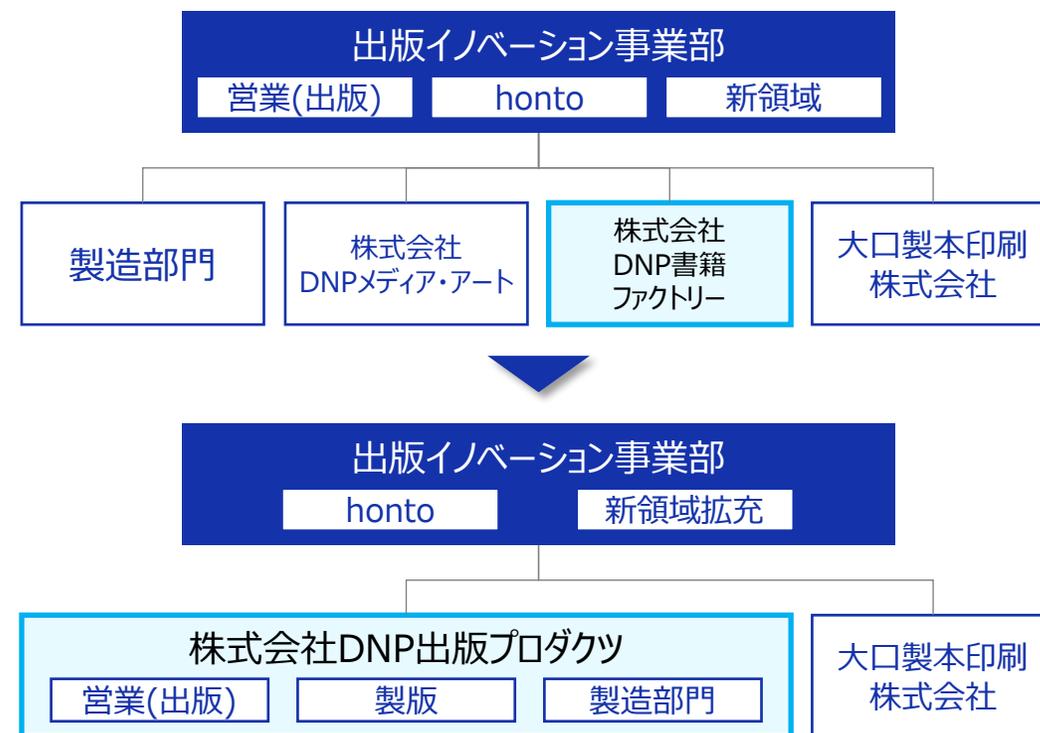
- ✓ 固定費の最適化
- ✓ 原材料費、人件費、物流費の高騰に伴う価格転嫁および低利品の見直し
- ✓ 製販一体となった事業推進体制に移行

構造改革の効果

+ 約20億円

出版印刷部門の組織再編

(株)DNP書籍ファクトリーを事業承継会社として、営業(出版)・製版・製造を一体化した(株)DNP出版プロダクツに再編



中期経営計画の進捗状況：キャッシュ・アロケーション

2023～27年度*の5年間 創出したキャッシュを事業のさらなる成長と株主還元に向けて適切に配分

キャッシュの創出

7,500億円以上のキャッシュを創出

営業C/Fの創出
4,400億円以上



・政策保有株式の売却 2,200億円
(純資産の10%未満に縮減)

・遊休資産の縮減、有利子負債の活用、資金効率の最大化
900億円以上

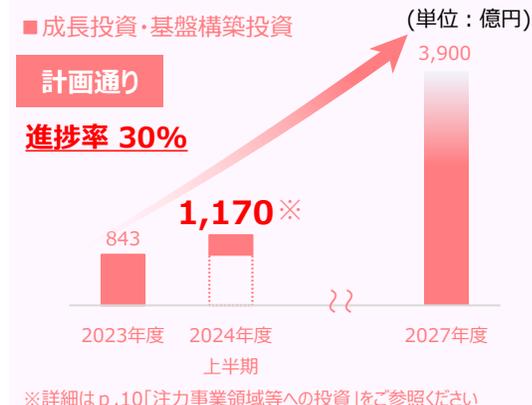


キャッシュ・アロケーション戦略

事業投資

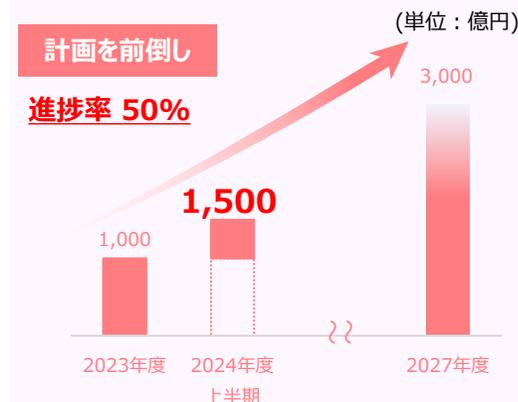
成長投資・基盤構築投資
3,900億円以上

内、注力事業領域への投資
2,600億円以上



株主還元

3,000億円程度の自己株式取得計画
EPSとDPSを意識した配当施策
(第1回)
1,000億円の自己株式取得 終了
(取得期間 2023/3/10～2024/2/22)
(第2回)
500億円の自己株式取得 終了
(取得期間 2024/3/11～9/20)



* 年度：各年の4月1日に開始し、翌年の3月31日に終了する会計年度

未来のあたりまえをつくる。

DNP

免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。